

## 安全性を高め、お客さまに安心してご乗車いただくため 池上線・東急多摩川線のカーブ区間での速度制限対策工事を完了しました

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、2007年3月末までに、池上線と東急多摩川線の全カーブ区間での速度制限対策を完了しました。

当社では、2005年5月の国土交通省からの通達を受けて、ATS（自動列車停止装置）を使用している大井町線、池上線、東急多摩川線の安全性を再確認しましたが、脱線の可能性のある箇所はなく、緊急対策の必要はありませんでした。しかし、より安全性を高めてお客さまに安心してご利用いただくため、2006年11月から、池上線、東急多摩川線のカーブ区間とポイント部で、速度制限対策工事を進めてきました。

この対策は、既存の「定位置停止支援装置」（駅で停止する際のオーバーランを防止するシステム）を応用し、カーブ区間やポイント部手前までに制限速度以下になるように、ブレーキを自動制御するシステムを導入するものです。今回の工事により、池上線、東急多摩川線の全カーブ区間と全ポイント部でのブレーキ自動制御が可能になりました。（詳細は別紙をご覧ください）

大井町線については、2008年3月（予定）の急行運転開始にあわせて、全線をATC（自動列車制御装置）化する工事を進めています。ATC導入路線では、制限速度超過の可能性はありません。東横線、田園都市線、目黒線、こどもの国線には、すでにATCを導入しています。

池上線・東急多摩川線における速度制限対策の概要は以下の通りです。

### 池上線・東急多摩川線における速度制限対策の概要

工事期間	2006年11月～2007年3月
導入路線	池上線、東急多摩川線
導入箇所	池上線・・・全カーブ区間および全ポイント部 東急多摩川線・・・全カーブ区間および全ポイント部

(別紙)

### 池上線・東急多摩川線の曲線部における速度超過対策イメージ

#### 駅間最高速度70km/h区間の場合

